

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピー小倉教室		公表日		2025年 10 月 1 日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	0	特性上、特定の支援室にしか入れないお子様や、集団支援などにおいて、職員間でコミュニケーションを取りながら、臨機応変に対応している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		7	0	支援員の振り分けもしっかりとなされている。 運営基準に沿って職員配置を行っている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	0	どこの部屋で支援するのかなどは構造化されている。 保護者様の情報を共有し、身体の不自由なご家族に応じて対応している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	1	清潔に保てるよう、毎朝の掃除時間以外でも、支援後に机上や床に汚れが無いか確認を徹底している。トイレや水回りの掃除は、週間掃除マニュアルを作り、清掃時に汚れの見落としが無いようにしている。		ビルが古いこともあり、窓枠のゴムが外れてしまったり、壁が汚れている箇所はある。 引き続き修繕を行っていく必要あり。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	0	集団支援でクールダウンが必要な際、個室に移動し話をするなど、落ち着いて過ごせるよう配慮をしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7	0	職員会議などにて情報共有など行っている。 イベント終了時に全職員に振り返りの時間を行ったり、終礼や会議でも振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	年に1度実施。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7	0	職員会議等でもしっかりと共有がなされている。 定期的に教室長との面談があり、意見が言えるよう配慮されている。主任2名で職員の面談を割り振り、相談しやすい雰囲気を作られている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	1	毎年、監査の結果を元に、業務改善について会議が行われている。		外部評価は受けていないが、内部監査を基に改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7	0	研修には積極的に参加している。 地域で繋がりのある、親子ふれあいルームへの参加や、職員各々で自己研鑽(けんさん)を行い、情報共有がなされている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	0	HPに公開している。 自作プログラムで良かった点など、職員間やミニ職員会議で共有し意見交換を行い、他のお子様のプログラムにも活かせるようになっている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7	0	作成している。 検討会議やケース会議において、支援内容について意見交換がなされている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7	0	全職員がお子様の現状を理解したうえで支援を行うことができる。 お子様に関する内部ケース会議も教室内で行われている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7	0	行われている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7	0	社内ツールにてアセスメントを実施している。 終礼やミニ職員会議にて、その日の様子や保護者様からのアセスメント内容が共有されている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7	0	設定している。 地域資源など、自己研鑽（けんさん）で情報を取得したり、上長に相談することで、保護者様への適切な情報提供が行われている。			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動に合わせて適宜行っている。 特に集団プログラムや職員が複数配置される場合においては、入念なコミュニケーションにより、綿密なプログラムの立案がなされている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	色々な支援員が支援入ること、様々な側目から支援を行うことができる。 ケース記録を見ながら検討したり、同じ支援員が続かないよう担当の振り分けがなされている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	集団ニーズのあるお子様とのペアや小集団の枠を保護者へご案内し、個別トレーニングの後に実践が積める環境設定がなされている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	入念な打ち合わせやコミュニケーションにより、支援外の職員も含めて、臨機応変な対応ができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼にて共有している。 終礼時に振り返りや気付きの情報共有を行い、次回の支援に活かせる環境ができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	必要に応じて、ケース会議等を実施している。 職員の細やかな記録を元に、以前苦手のあった課題を再検証することができています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングの際にも、どのように保護者様の困り感があるのかなどを細かく聴取することができています。	
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」をもとに支援を検討している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	支援内容を選ぶことが出来るように設定することもある。 課題の選択を提示したり、好きな遊びで発散できる時間を設定している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	担当又は児発管が参加している。 相談支援事業所との連絡を適宜行っているため、充実した支援を提供することができています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	積極的に連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	関係機関連携などを行っているほか、必要に応じて電話なども行っている。 定期的に学校とお話をする事で、一貫した支援をすることができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	継続して利用する方が多い為、情報を持っているケースが多い。 就学前にも就学後にも園ともやり取りを行っていることで、統一したものを行うことができています。	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	まだそのようなケースを経験したことがない。	実際に移行した方はいないが、現在移行中の利用者様がいて、都度情報収集と対象の方に向けて発信を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	センター主催の勉強会などに参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	きょうだい児の皆様がイベントに参加することで交流する機会を設けることは出来ている。	外部イベントとして地域施設への参加の機会を増やしていける様検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	自立支援協議会の多職種交流会の運営メンバーの職員もいる。 分科会ではエリア担当を担っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	定期的に面談を実施している。 FBや家族支援、子育てサポートにて適宜、傾聴・助言が行われている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者向け勉強会の開催などにて対応している。 オンライン講座の活用や、保護者向けの講座やイベントを企画し、情報提供や助言を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学、契約時に実施。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	アセスメント時に対応している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	定期的に家族支援を行う事で、しっかりと情報共有することができている。 FBや家族支援、子育てサポートにて適宜、傾聴・助言が行われている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいい士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	きょうだいいイベントへのお誘いや、OB会、保護者向け講座にて座談会を設定し、コミュニティを広げるお手伝いを行っている。	きょうだいいの皆様にもイベント時には参加が行える様、促しを行っている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	その場もしくは次回利用時には対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ハッピーだよりやアプリにて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きキャビネットにて管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	保護者、お子様の状況に合わせて対応している。 相談のやり取りをホワイトボードに書いたり、筆談、イベントチラシ、絵カード、パワポなどのツールを用いて、視覚的に分かりやすく情報が伝わるよう配慮している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	事業所の説明などが出来るようなイベントを開催している。 地域でハッピーを知って頂き療育に繋がった方などをイベントにお招きしている。（お花見など）	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	防犯に関する対応は共有されている。	ビル主催の避難訓練には参加を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	水難事故や災害について学ブイベントを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	アレルギー同意書を頂き、対応している。	毎日の食事提供は行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	行われている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットが起きた日の終礼時に必ず共有し、対策について意見交換が行われている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	社内研修にて行えている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	記載している。	